

令和7年度 第1回男鹿市総合教育会議 会議録

1 日 時

令和8年2月16日（月） 午後4時～午後5時

2 場 所

男鹿市役所3階第一会議室

3 出席者

| | | |
|----------|-----|---------|
| 男鹿市 | 市 長 | 菅原 広二 |
| 子育て健康課 | 課 長 | 濱野 浩孝 |
| 文化スポーツ課 | 課 長 | 竹内 弘和 |
| 男鹿市教育委員会 | 教育長 | 鈴木 雅彦 |
| | 委 員 | 三浦 良忠 |
| | 委 員 | 山王丸 由利絵 |
| | 委 員 | 古仲 宗雲 |
| | 委 員 | 齊藤 幹 |
| こども未来課 | 課 長 | 清水 琢 |
| 教育総務課 | 課 長 | 湊 留美子 |

4 協議事項

- (1) 男鹿市教育、学術及び文化の振興に関する施策の大綱について

5 会議録

○ 事務局

ただいまから令和7年度男鹿市総合教育会議を開会いたします。初めに菅原市長が挨拶を申し上げます。

○ 市 長

船越こども園の整備費は当初の予定より膨らみましたが、これを「市民みんなで力を合わせて子育てをしていくシンボル」として進めることで、必ず良い成果に繋がると確信しています。

「子育てにやさしい街は、高齢者にもやさしい街」という思いのもと、子どもたちの元気な姿がお年寄りの活力にも繋がるような良いサイクルを目指し、教育には一番力を入れていきたいと考えています。

また、来年度は「シティプロモーション」に力を入れていきます。給食やおむつの無償化など、市が頑張っている子育て支援策を、もっと市民の皆さんにアピールしていきたいです。市外へもどんどん発信することで移住者が増えることを期待しています。また、外からの色々な情報やご意見（時には批判も）を乗り越えて、チャレンジし続ける気持ちを大切にしたいと考えています。

景色や食、ナマハゲといった観光資源だけでなく、「おもてなしの心」を育む意識を高めながら、教育・農業・観光など、市全体で子育てを応援する良い流れを作っていきたいと思っています。

最後に、男鹿市をもっとPRするために、新しく「なまはげのマスコット」を作りました。秋田犬のマスコットのように、東京のショップなどにも置いてもらえるよう、これから色々なパターンを作って男鹿市の魅力をアピールして

いけたらいいなと考えています。

今日は皆さんから忌憚のない話を聞かせていただければありがたいと思いますので、よろしく申し上げます。

○ **事務局**

それでは、議事に入ります。会議の議長は、男鹿市総合教育会議設置要綱の規定に基づき、菅原市長より進行をお願いいたします。

○ **市長**

協議事項。「男鹿市教育、学術及び文化の振興に関する施策の大綱について」を議題といたします。まず、事務局から説明をお願いします。

○ **事務局**

～資料により説明～

次期（令和8年度～11年度）の教育大綱について、現在と同様に次期総合計画のうち「子育ての希望が溢れるまちづくり」等の関係部分を大綱と位置付けることを説明。

目指す将来像として「子育て環境日本一」を掲げ、以下の5つの施策体系を提示した。

- ・おがっこの夢と希望をかなえる環境の整備
- ・教育保育の質の向上と環境の整備
- ・生涯学習の推進
- ・生涯スポーツ活動の推進
- ・地域文化の振興

現在最終確認を行っており、微調整を加えた上で3月定例会に議案として提出する予定であることを報告した。

○ **教育長**

事務局から説明された教育大綱案について、教育委員会としてもこの方針で進めていきたいと考えています。

○ **市長**

事務局から、次期教育大綱について説明がありました。

大綱については、本会議における協議により策定することとなっておりますが、事務局案を大綱とすることに御意見のある方は、いらっしゃいますか。

（質疑なし）

■ **決定事項**

男鹿市教育学術及び文化の振興に関する施策の大綱（案）について、原案通り承認・決定された。

6 **閉会**

○ **事務局**

以上をもちまして、男鹿市総合教育会議を終了します。ありがとうございました。